



千代田区議会議員 身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます。

池田とものりの区政レポート 第3号

To Next Generation! **千代田の未来へ世代をつなぐ!!**

平成28年第1回区議会定例会にて一般質問を行いました!

「かがやきプラザ」について

池田 最初にかがやきプラザ全般の機能についてですが、医療と介護の連携については、併設する九段坂病院はもとより他の医療機関、とくに区の医師会とも十分な連携を図りながら進めていくことが重要と考えます。24時間365日高齢者の医療を含めた相談から入院など具体的な対応にワンストップで繋げていくことができるのは、区民の安全安心な生活の確保の観点からも大いに評価されるべきものと考えます。かがやきプラザ開設以降の九段坂病院との連携体制及び取り組みについて、現状と今後について区の考えをお答えください。

答弁 相談センターでは24時間体制で高齢者の様々な相談を、医療的対応が必要な場合には医療連携室等を窓口として多方面での連携をすすめている。

池田 これまでの高齢者センターは、平成26年度事業報告書によれば、登録者数約1,240人、施設利用者数年間延べ55,000人となっていますが、かがやきプラザに移りオープン後間もない期間ではありますが、新たに利用される方の状況や今後の利用拡大に向けた対策についてお答えください。また、団塊の世代の参加を促進するための方策や今後の取り組みについてお答えください。

答弁 利用説明会や開館日の拡大で、利用促進を図っている。

池田 かがやきプラザには、新たに人材育成・研修機能と多世代交流機能が設けられています。福祉人材の確保が大きな課題となっている中で、専門職の確保とスキルアップはもとより、身近な地域の中において住民同士や家族間で支援ができるように、介護に関する知識や技術を身につけるための研修を行うなど、一体的な取り組みが求められているのではないのでしょうか。来年度から本格的な実施体制になると思われますが、研修室の有効的な活用など基本的な取り組み姿勢及び来年度以降の事業計画も含めてお答えください。

答弁 介護関係者への研修、資格取得支援等で地域の人材の育成を行う。研修室は区民への一般利用も検討していく。

池田 また、多世代交流拠点として、かがやきプラザが単に高齢者だけを対象とした事業だけでなく幅広い年齢層の区民が集い、相互の理解を深めていくことはとても大切なことと考えます。高齢者の多くは若い世代との交流を求めているとお聞きしたことがあります。そのための場所の提供や高齢者をはじめ子育て世代や障害者向けのイベントの実施など、かがやきプラザのPRも含めて継続的な事業

推進を図っていくべきと思います。ひだまりホールの活用も含め、多世代交流事業の実施状況及び今後の取り組みについてお答えください。

答弁 子どもから高齢者の方まで、この施設で集い、出会い、交流する機会や場となるような事業を実施していく。

ちよだバリアフリーマップの展望について

池田 続きまして、ちよだバリアフリーマップについてお尋ねいたします。区内全域を5区画に分けてそれぞれに調査し、交通機関の各駅や公共施設のバリアフリー情報はもとより、裏通りの坂道の傾斜などまで事細かに記載されています。また、車いすやベビーカーでの移動には欠かせないエレベーターの設置箇所やスロープの有無、店舗や商業ビルの出入り口の段差情報など、これまで障害者や高齢者、歩行が不自由な方向けに記されています。さて、世界の都市総合ランキングで東京は、ロンドン、ニューヨーク、パリに次ぐ4位ですが、舛添知事も「世界一の都市」に押し上げるために掲げる様々な政策の一つに観光を取り上げています。

昨年、自民党議員団では、東日本大震災で被災したいわき市を訪問視察いたしました。津波の被害で90%の魚を失ってから126日のスピードで再館できたアクアマリンふくしまでも、各国からの観光客の対応のために英語、中国語、韓国語の館内案内マップが用意されていました。千代田区が推進している現況のバリアフリーマップも多言語化への対応に向け、スピード感が必要なのではないのでしょうか。

とはいえ、例えば「授乳室」というワードを多言語に変換するのも時間と労力が必要です。その表記で間違いなく伝わるのか、有識者からの監修も必要かもしれません。オリンピック・パラリンピック開催時にはもちろんですが、すでに迎えている来街者が、東京の玄関口千代田区に求めているものではないのでしょうか。そして2020年には、見直し更新を重ねた最新のマップが各所で手に取れることと思われます。今後の区の取り組みについてお答えください。

答弁 多言語化へ既に検討を開始し、平成29年度から順次作成予定。東京オリンピック・パラリンピックには最新版を配布できるように取り組む。



これからも安心して暮らしていける千代田を目指して

区政報告 その①

「区政報告会を開催しました」

去る4月23日、麹町区民館にて自身初の区政報告会を開催しました。昨年の5月より議員活動を始めてあつという間の一年を振り返りながら、これまでの活動報告や議会を経験しての思い、一区民から立場が変わり議員としての自覚を持ってこれからの区政について皆さんにお伝えしようと準備をしてきました。所管の委員会の紹介、定例議会での一般質問、子どもの遊び場や保育園事情、コミュニティサイクルの現況報告などを取り上げました。特に一般質問で二度取り上げた「ちよだバリアフリーマップ」については、その必要性、作り上げるまでの現場調査の徹底、東京オリンピック・パラリンピックに向けた多言語化への展開、それらをしっかりと主張しそのための予算を約束してもらったことなどを熱弁し実際のマップを紹介しました。時間の都合

で話せなかったテーマもありましたが、皆さん熱心に聞かれています。質疑では、小学生からの質問、要望（教室不足や図書室問題）には切実な思いを感じました。他にも、一部歩道の道幅の狭さの問題、図書館でのマナーなど身近な要望を直接聞くことが出来て、一つずつ問題解決に向けて取り組んでいく決意でこれからの議員活動に励んでまいります。終了間際には特技のけん玉を披露したりして大変和やかな報告会でした。心配していたより多くの方に足を運んでいただき、本当にありがとうございました。すでに2年目がスタートしています。千代田区のため、千代田区民のため、また世代をつなぐため、日々努めてまいります。



区政報告 その②

「子どもの遊び場事業」

富士見二丁目の衆議院九段議員宿舍跡地の一部を子どもの遊び場として、また保育所等の代替園庭として整備が整い、2月より使用が出来るようになりました。周囲をフェンス



衆議院九段議員宿舍跡地

で囲んだ遊び場は、人工芝が敷かれて園庭のない区内保育所等の代替園庭として活用することで、園児の保育環境が改善されます。子どもの遊び場は土曜日と日曜日（9時～5時）が利用可能で子ども同士でボール遊びが出来る広場として開放されます。近隣にも配慮しながら利用者が増えてくる遊び場になるよう引き続き見守っていきます。今後もボール遊びが出来る広場・公園が増えていくように整備、検討してまいります。



人工芝の代替園庭

区政報告 その③

熊本地震発生による「義援金募金活動」

千代田区議会では、4月14日夜に発生した熊本地震で被災した熊本県、大分県への義援金の募金活動を4月26日(JR市ヶ谷駅)、27日(JR秋葉原駅)に行いました。2日間でいただいた募金を折半して熊本県、大分県にそれぞれ義援金として送りました。ご協力ありがとうございました。千代田区では救済物資として、水入りペットボトル、非常食用缶詰、毛布を被災地へ発送しています。また人的援助として、地震の影響で倒壊した家屋の安全性を診断するため、建築技術職で耐震診断士を2名派遣しています。今後も千代田区として出来ること、私たちができる復興支援を考え実行していきます。



▲JR市ヶ谷駅にて

<池田とものり PROFILE>

「子育て文教委員会(常任委員会)」 「公共施設整備特別委員会」 「議会のあり方に関する調査特別委員会」 「区議会だより編集委員会」

- ★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業
- ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業 ★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業
- ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
- ★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長 ★平成15年～平成26年 千代田区スポーツ推進委員
- ★平成25年～共立女子学園後援会副会長 ★平成26年 千代田区ドッチビー協会を設立、初代会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッチビー(審判・指導資格取得)

池田とものり事務所 〒102-0084 千代田区二番町11-1 朝日サテライト二番町406
TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

池田とものり
公式アプリ公開中!!

